

佐世保史談会 令和2年10月度

歴史講話・定例研究発表会のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

秀麗の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
10月の歴史講話および定例研究発表会を下記の日程で開催いたします。
会員の皆様はじめ、市民の皆様のご来場をお待ちしております。
なお、感染予防のため、会員を優先に人数制限をすることもあるかと思いますが、その際はなにとぞご容赦をお願いいたします。

日 時 令和2年10月31日(土) 13:00~15:45
会 場 佐世保市立図書館 3階視聴覚室
(公共交通機関でお越しください)
主 催 佐世保史談会
参加費用 200円(資料代)
問合わせ先 廣田 昌一 氏 TEL 32-4464

(1) 歴史講話 13:05~13:45

話 題 佐世保史談会 60年の歩み

講 師 酒見 莞爾(さけみ かんじ) 会員

(2) 定例研究発表会 14:00~15:45 (質疑等含む)

主 題 嘉永元年のお小遣い帳

— 小遣帳から読みとく上級武士の子どもの日常生活の一端について —

発表者 山口 敏幸(やまぐち としゆき) 会員

これは 172 年前の江戸時代の旗本屋敷に住む三人の子どもたちが使った一年間の小遣いを記録したものである。この史料は今までに類例のない珍しいものである。幼少の旗本子息たちの生活の一端を明らかにするものとなるだろう。

そこには昭和 30 年代までに子供時代を過ごした世代までに連なる数々の遊びの道具を見出せる。また、様々の「おやつ」も登場する。現在でも食べられている、ある「おやつ」は当時も人気だった。

常識は変わるものである。今の常識ではありえない衝撃的な事実が次々とそこに記されている。

